



## 2021年度 地球環境基金 助成金交付要望の募集について

2020年 9月 30日(水)

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

部長:秋保 裕幸

地球環境基金課長: 小林 大

担当: 日野、西岡

連絡先 044-520-9505 FAX:044-520-2192

環境分野の政策実施機関である独立行政法人環境再生保全機構(神奈川県川崎市、理事長 小辻智之)地球環境基金では、日本国内外の民間団体(NGO・NPO)が開発途上地域または日本国内で実施する環境保全活動に対し、助成金の交付を行っています。

2021年度の助成金交付要望の募集について、お知らせいたします。併せて、「地球環境基金企業協働プロジェクト」として「LOVE BLUE 助成」を実施いたしますので、お知らせいたします。

### ■2021年度地球環境基金募集の概要

8種類(①はじめる助成、②つづける助成、③ひろげる助成、④フロントランナー助成、⑤プラットフォーム助成、⑥復興支援助成、⑦特別助成、⑧LOVE BLUE 助成)の助成メニューで募集します。

それぞれの助成メニューの詳細は次頁をご参照ください。

- |               |   |
|---------------|---|
| 1. 助成対象団体     | : 特定非営利活動法人、(一般/公益)財団法人・社団法人、任意団体   |
| 2. 助成対象地域     | : 日本国内、開発途上地域   |
| 3. 助成金募集案内の公開 | : 2020年9月30日(水)16:00  |
| 4. 応募期間       | : 2020年11月5日(木)~2020年12月2日(水)   |
| 5. 助成期間       | : 2021年4月1日(木)~2022年3月31日(木)  |
| 6. 対象となる活動分野  | : 幅広い分野の環境保全活動を対象としています。  |
|               | 自然保護・保全・復元、森林保全・緑化、砂漠化防止、環境保全型農業等、地球温暖化防止、循環型社会形成、大気・水・土壌環境保全、復興支援等、総合環境教育、総合環境保全活動 |
| 7. 助成メニュー     | : 8種類(次頁参照)   |
| 8. 年間助成金額     | : 50万円~1,200万円(助成メニューにより異なります)  |
| 9. 2020年度交付実績 | : 180団体、1件あたり平均約320万円(総額約5億8千万円)の助成   |
| 10. 提出・問い合わせ先 | 独立行政法人環境再生保全機構<br>地球環境基金部 地球環境基金課<br>TEL:044-520-9505                               |

助成金要望書類: 地球環境基金 HP からダウンロードしてください。

<https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/>

## ■2021 年度助成メニューのご紹介

助成メニュー	助成メニューの特徴			対象案件
	助成年数	助成金額 (1年間あたり)		
				<b>イ</b> 国内の民間団体による <b>開発途上地域</b> での環境保全のための活動 <b>ロ</b> 海外の民間団体による <b>開発途上地域</b> での環境保全のための活動 <b>ハ</b> 国内の民間団体による <b>国内</b> での環境保全のための活動
助成	はじめる	地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に地域からの環境保全のボトムアップの充実を目指す支援 1年間	50万円～300万円	<b>イ</b> <b>ロ</b> <b>ハ</b>
助成	つづける	地域に根ざすことなどを目標して始めた活動が、継続し、持続的な活動へと定着することを支援 最大3年間	50万円～300万円	<b>イ</b> <b>ロ</b> <b>ハ</b>
助成	ひろげる	課題解決能力等に磨きをかけ、より効果的な活動の展開を実現し、団体組織のステップアップを目指す支援 最大3年間	200万円～800万円(イ案件) 200万円～600万円(ロ・ハ案件)	<b>イ</b> <b>ロ</b> <b>ハ</b>
助成	フロンティア	日本の環境 NGO・NPO が中心となり、市民社会に新たなモデルや制度を生み出すための支援 原則3年間	600万円～1,200万円	<b>イ</b> <b>ハ</b>
助成	プラットフォーム	日本の環境 NGO・NPO が他の NGO・NPO などと横断的に協働・連携し、特定の環境課題解決のために大きな役割を果たすことを目指す支援 最大3年間	200万円～800万円	<b>イ</b> <b>ハ</b>
助成	復興支援	東日本大震災及び熊本地震の被災地域における環境保全を通じて、これら地域の復興に貢献しようとする活動への支援(継続団体のみ) 最大3年間	100万円～500万円	<b>ハ</b>
特別助成		東京 2020 大会の開催に向け、環境面でのレガシー、市民参加による環境保全のムーブメントの創出を目指す支援 原則1年間	200万円～600万円	<b>ハ</b>
		地域循環共生圏構築の中心となり、自治体や企業、様々な関係者と連携・協働して、環境・社会・経済の統合的課題解決を目指す活動の準備・基盤づくりを支援 最大2年間	50万円～200万円	<b>ハ</b>
助成	LOVE BLUE	【企業協働プロジェクト】 *詳細は次ページ[参考]をご参照ください 一般社団法人日本釣用品工業会からの寄付による助成で、清掃活動など、水辺の環境保全活動に対する活動 最大3年間	継続分を含む寄付総額の範囲内 (2020年度は1,350万円)	<b>ハ</b>

## ■2021 年度地球環境基金助成における SDGs(持続可能な開発目標)への取組み

2015 年 9 月の国連総会で「Transforming Our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development (我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ)」が採択されました。その中心を占めているのが「Sustainable Development Goals (SDGs: 持続可能な開発目標)」です。

SDGs は、政府だけではなく地方自治体、市民社会(NPO・NGO)、企業など関係者が広く取組むものとされており、SDGs は先進国、途上国すべてにとっての目標で、誰一人取り残さないように(Leave no one behind)取組み、環境・経済・社会の課題を統合的に解決することを目指しています。

地球環境基金も、活動資金助成やエンパワーメントを行う事業を通じて、SDGs の考え方を活用し、環境保全活動を中心に捉えつつ複数の目標を統合的に解決することを目指す環境 NGO・NPO を積極的に支援していきます。



## ■2021 年度助成金説明会のご案内

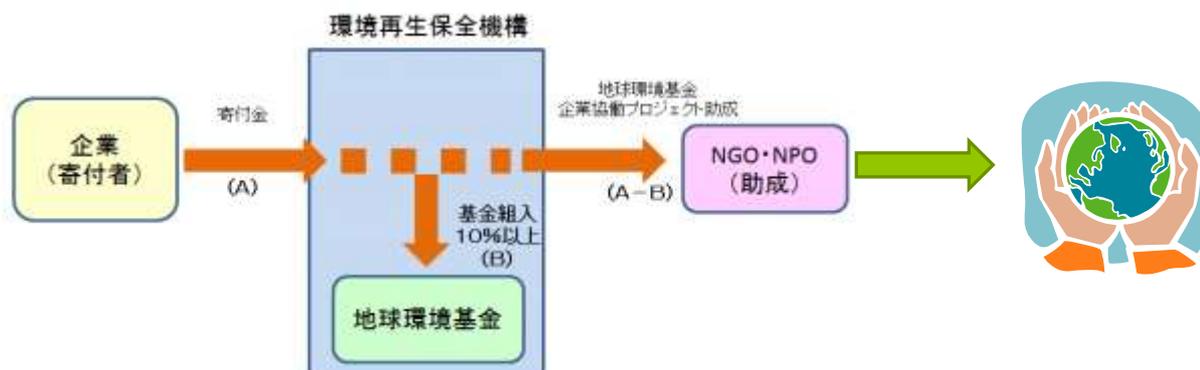
ブロック	日時	会場
北海道	2020 年 10 月 16 日(金) 14:00-16:00	オンライン型
東北	2020 年 10 月 29 日(木) 10:00-12:00	オンライン型
関東	2020 年 10 月 20 日(火) 18:30-20:00	オンライン型
中部	2020 年 10 月 22 日(木) 18:00-20:00	オンライン型
近畿	2020 年 10 月 19 日(月) 18:30-19:30	オンライン型
中国	2020 年 10 月 12 日(月) 15:00-17:00	オンライン型
四国	2020 年 10 月 28 日(水) 18:00-20:00	オンライン型+会場: 環境省四国環境パートナーシップオフィス (高松市寿町 2-1-1 高松第一生命ビル新館 3 階) 他
九州	2020 年 10 月 23 日(金) 18:30-20:45	オンライン型+会場: 未定

## [参考]

### 企業協働プロジェクトの仕組み

<地球環境基金企業協働プロジェクトの条件等>

- ・2021年度の寄付金額は1,500万円。
- ・寄付金のうち、事務費相当分として寄付額の10%以上を「地球環境基金」に繰入れる。
- ・助成先の募集、審査、助成金の支払い等は、地球環境基金助成金の枠組みで実施する。
- ・地球環境基金企業協働プロジェクトの期間は、最大3年間(継続助成がある場合)



### LOVE BLUE 助成

「LOVE BLUE 助成」は、一般社団法人日本釣用品工業会より地球環境基金に寄付された資金をもとに、清掃活動など、水辺の環境保全活動を支援するための助成金です。

LOVE BLUE とは、一般社団法人日本釣用品工業会が公益財団法人日本釣振興会と共同で取り組む環境・美化事業です。この事業は、釣り用品メーカー等が国内で販売する釣り関連製品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部が一般社団法人日本釣用品工業会へ拠出され、事業原資となっています。